



税を正しく知ろう! 糸満市租税教育推進協議会による租税教室

税の仕組みや役割を知ってもらおうと、7月9日(火)に真壁小学校で租税教室が行われました。授業では、市税務課職員による税の仕組みの解説やDVD視聴で税の大切さを学んだ後、アタッシュケースに入った1億円のレプリカを持つ体験をしました。佐藤日向さんは「税金の使い方や税金がなくなったら世の中が変わることを知って、とてもためになりました」と感想を話しました。



前回の悔しい気持ちを力に変えて 糸満南小学校女子ミニバス地区大会優勝

6月1日(土)から開催された第35回島尻地区ミニバスケットボール夏季大会で、糸満南小学校女子ミニバスケットボールクラブが優勝し、その喜びを報告するため、7月9日(火)、市役所を訪れました。キャプテンの喜納珠里さんは「前回、準優勝で悔しい思いをしてから、たくさん練習しました。決勝戦の相手は強かったけど、応援とサポートのおかげで勝つことができました」と話しました。



自身の思いを社会に訴える 第39回糸満市少年の主張大会

第39回糸満市少年の主張大会が7月10日(水)、糸満市農村環境改善センターで開催され、市内各中学校の代表12人が日常生活で体験した思いを発表しました。最優秀賞には、戦争のことを演題とした「ウチナナンチュだからこそ」を発表した西崎中学校の神谷汐莉さんが輝きました。神谷さんは「本番はとても緊張しましたが、最優秀賞を受賞できてうれしいです」と笑顔で話しました。



私たちが安心できる世の中に 令和6年度市民総決起大会

7月16日(火)、令和6年度「青少年深夜はいかい県民一斉行動・ちゅうさん運動の推進・夏の交通安全県民運動・暴力団追放」市民総決起大会が開催されました。兼城中学校の赤嶺遙さんは「私たちの住む沖縄の社会は、私たちにあって安心できる世の中であってほしいと願うとともに、誰もが明るく笑顔で幸せな生き方ができる世の中であってほしいです」と意見発表を行いました。

全国大会でも優勝を目指して 第17回都道府県剣道大会で団体、個人戦優勝

糸満剣士会に所属する市内小学生3人が、5月11日(土)に行われた第17回都道府県剣道大会で、優秀な成績を収め、その喜びを報告するため7月3日(水)、糸満市役所を訪れました。キャプテンの金城幸太朗さんは「メンバーで一致団結して優勝できました。大会では、ひとつひとつの試合で練習成果を発揮して、試合ができました。7月の全国大会でも精いっぱい頑張ります」と抱負を語りました。



糸満のチームが1位・2位フィニッシュ! 第25回サバニ帆漕レース大会

沖縄の伝統的なサバニで海を渡る、第25回サバニ帆漕レース大会が6月30日(日)に開催され、糸満市から出場した2チームが見事、サバニクラス1位、2位フィニッシュを飾り、その喜びを報告するため、7月5日(金)、出場したチーム関係者が市役所を訪れました。同大会は、2000年の沖縄サミットをきっかけに、海の伝統文化を継承するために始まり、座間味村古ザマミビーチを出発点に那覇港沖まで約35.2kmを帆掛けサバニで横断し、その到着時間で競います。2チームは、EitomanⅡが2時間55分14秒、EitomanⅢが3時間3分9秒を記録し、大会新記録で1位と2位に輝きました。チームを代表してサバニ大工の大城清さんは「横風が吹き荒れ、風の影響で波も高い環境でのレースでした。糸満市から出場することで、プレッシャーもありましたが、良い結果が得られてうれしいです。『海人のまち糸満』の操船技術と漕ぎ手の技術を結集したことが大会記録更新につながったと思います」と笑顔を見せました。



私が思う、ジョン万次郎 第5回糸満市ジョン万次郎英語弁論大会

ジョン万次郎英語弁論大会への派遣生徒選考会が7月8日(月)、市役所で行われ、市内中学生がそれぞれの思いを英語で発表しました。最優秀賞には「Journey to my Dream ~夢への旅~」を発表した糸満中学校の玉城あみさんが選ばれました。玉城さんは「発表は緊張したけど、練習の成果を発揮できて良かったです。次の大会では、課題を修正して臨みたいと思います」と話しました。

